

まんが

よくわかる 建物のCO₂排出量算定 ～建設業もカーボンニュートラル社会へ～

CONTENTS(目次)



プロローグ(施主からの依頼)	1
1. カーボンニュートラルって何!?	5
解説01 温室効果ガスの排出削減が求められる理由	25
解説02 カーボンニュートラルと脱炭素	27
解説03 脱炭素と企業経営	29
解説04 スコープとは?	32
解説05 建設業で脱炭素が求められる背景	35
2. 建物のライフサイクルと環境負荷の評価	37
解説06 建物のライフサイクルにおける温室効果ガス(GHG)の分類	41
解説07 ライフサイクルアセスメントが注目される理由	43
3. 建物の温室効果ガス排出量算定の動向	44
解説08 海外の動向	52
解説09 国内の動向	53
4. 建物の温室効果ガス排出量はどうやって算定するの?	55
解説10 (一社)日本建築学会「建物のLCA指針」	65
解説11 J-CAT	67
解説12 (一社)不動産協会「建設時GHG排出量算定マニュアル」	69
5. 排出量の算定を開始!!	71
解説13 算定目的と対象範囲の設定	81
解説14 AIJ-LCAツール	83
解説15 その他の算定ツール	85

6. 資材製造段階の排出量算定	87
解説16 資材投入量データの収集	99
解説17 排出原単位と原単位データベース	100
解説18 単位換算の必要性	102
7. 施工～使用～解体段階の排出量算定	103
解説19 施工段階の排出量算定方法	110
解説20 使用・解体段階の排出量算定方法	112
8. 排出量削減対策を考える	114
解説21 排出量の分析、評価	120
解説22 排出量の削減対策の例	121
9. 土木・インフラ工事の排出量算定	123
解説23 土木・インフラ工事の排出量算定が注目される理由	128
解説24 国土技術政策総合研究所 「インフラ分野における建設時のGHG排出量算定マニュアル案」	129
エピローグ(算定結果の活用方法、効果)	131

本書をお読みいただくにあたってのご注意について

- (1) 本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としています。
海外情勢も含め、発刊時の政策等が大きく転換される場合もございます。
実際の運用等は、お客様自身の責任と判断によって行ってください。
本書の情報の運用結果等について、著者、監修者、作画者及び建設物価調査会
はいかなる責任も負いかねます。
- (2) 本文中に記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標
です。なお、本文中に™及び®は明記しておりません。

以上の点につきまして、予めご了承ください。